「日本介護福祉士会創立 30 周年に寄せて」

一般社団法人日本介護支援専門員協会 会長 柴口 里則



この度は、創立 30 周年誠におめでとうございます。一つの節目として貴会がこれまで歩んでこられた道を思い、国民の福祉の増進に向けた活動とたゆまぬ自己研鑽の取り組みに 改めて感服いたします。

高齢化率の進展により介護ニーズはますます高まる中、介護業界の人材不足は喫緊の課題となっており、現場で働く介護福祉士の皆様におかれましては、多忙を極める日々をお過ごしかと存じます。介護職員の処遇改善も進められてはいるものの、まだ十分とは言えないでしょう。団体の垣根を超え、今後も介護の現場で働く皆さんの仕事に見合った報酬が得られるよう、協力して取り組んでいけたらと考えています。変化していく時代の中で、常に一歩先を見据える貴会の取り組みから、今後も学ばせていただきます。

私たち日本介護支援専門員協会は、令和7年に創立20周年を迎えます。日頃より当協会の活動に関し格別のご厚誼を賜り、厚く御礼申し上げます。私たちは介護を必要とする方々の暮らしを支える職能同士、謂わば「お隣さん」のような存在です。今後も手を取り合い、介護を必要とする方々の生活を支え、ひいては世界に誇る日本の介護保険制度を支えていければと思います。

長い年月を歩んできた貴会の功績を称えるとともに、ますますのご発展を心よりお祈り いたします。